



* 2010 年 10 月 15 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および関連資料等は、GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」(http://www.ge.com/investors/events/event_id10152010.html) をご覧下さい。

PRESS RELEASE

GE、2010 年度第 3 四半期の業績を発表

継続事業の 1 株当たり利益は 32%増の 0.29 ドル、2 四半期連続の 2 桁増
GE キャピタルの利益は 8 億 7,100 万ドル、同継続事業の税引き前利益は 5 億 2,700 万ドル
設備・機器の受注高は 9%増

2010 年度第 3 四半期の決算ハイライト (GE に帰属する継続事業)

- 1 株当たり利益(EPS)は 32%増の 0.29 ドル、利益は 29%増の 32 億ドル。
- 総受注高は 7%増の 194 億ドル、設備・機器の受注高は 9%増。
- GE キャピタルの貸し倒れ損失は引き続き減少、利益は改善中。引当金額は変わらず。
- 現金および現金同等物の連結期末残高は 780 億ドル。
- 産業分野事業の営業活動によるキャッシュフローは、今年度通期目標である 140~150 億ドル達成に向け、順調に推移中。
- NBC ユニバーサルを除く産業分野事業の営業利益率は 16.4%と堅調。
- 自社株買い (現時点で 9 億ドル)、増配および戦略的 M&A などの資本配分計画を着実に実行中。

2010年10月15日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GEは本日、2010年第3四半期(2010年7-9月)の業績を発表しました。(GEに帰属する)継続事業からの利益は32億ドル、普通株1株当たり利益は前年同期比32%増の0.29ドルとなりました。受注高および継続事業からの利益が2四半期連続で増加していることから、GEを取り巻く経済環境が改善を続けていることがわかります。

当四半期の総売上高は、設備・機器の売上減およびGEキャピタルの資産圧縮による影響で、前年同期比5%減の359億ドルとなり2010年上半期と同水準の実績となりました。2010年第4四半期の産業分野事業の売上高は、第3四半期に比べ順次増加し、前年第4四半期とほぼ同水準になる見込みです。

GEのジェフ・イメルト会長兼CEOは次のように述べています。「8四半期ぶりに設備・機器およびサービスの両方の受注高が増加しました。設備・機器の受注高は9%増加し、このうちテクノロジー・インフラストラクチャー事業の受注高は33%増でした。世界各地で堅調な需要がみられ、エミレーツ航空からGE90型航空機エンジン60台受注、北米市場向けGEエボルーション・シリーズ機関車142台受注、およびサウジ電力会社から発電所ガスタービン7基、蒸気タービン2基の新規受注などを獲得しました。ヘルスケア事業のインド、中国における受注高は20%以上も増加しました。サービス事業の受注高は、既存顧客の設備・機器稼働率上昇に伴い増加しました。受注残総額は1,720億ドルの水準を維持しています。」

「当四半期、GEは強い実行力を発揮しました。NBCユニバーサルを除く産業分野事業の営業利益率は、40ベースポイント増の16.4%となりました。当社は引き続き、世界最高水準の製品展開、当社事業の周辺市場における競合優位性確立および業務効率化に向けた投資を行ってきました。また、研究開発投資を増強し、今年度の累計額は現時点で21%増となりました。産業分野の営業活動による当四半期キャッシュフロー総額は38億ドルとなり、今年度通期目標である140~150億ドルの達成に向け、順調に推移しています。当四半期の現金および現金同等物の連結期末残高は780億ドルでした。GEの強みであるキャッシュ創出力は依然として健在です。」

エネルギー・インフラストラクチャー事業は、厳しい環境のなかで売上減、営業利益横ばいという計画通りの業績を達成しました。ヘルスケア事業の利益は、世界各地の需要回復に支えられ14%改善しました。アビエーション(航空)事業はGENx新エンジンの初回出荷の影響および前年同期が増益であった反動で、減益と

なりました。NBC ユニバーサルの上は 41 億ドルと横ばい、営業利益は 15%減でしたが、2009 年度の同事業譲渡による一過性の影響調整後の売上および営業利益は、前年同期比で好転しています。

「GE キャピタルは引き続き、期待を上回る業績を達成し、攻めの体制が整っています。コア業務利益が増加し、損失が減少していることから金融事業が危機を脱したと言えます。また、過去 18 カ月にわたり金融事業基盤を強化してきた我々の努力が実を結びつつあります。純利益は前年同期比 7 億ドル増の 9 億ドルでした。（貸し倒れ）引当金は 91 億ドルで変わらず、主要業績評価は引き続き改善しています。さらに、GE キャピタルの事業ポートフォリオのほぼ全領域において、対前年比、対前四半期比で業績が改善しています。特に、個人向け・法人向けローンおよびリースの業績が堅調でした。」

「金融事業の基盤が強化された今、GE キャピタルはその優位性を活かし、GE の株主価値を創出できるような独自性をもった金融サービス事業を展開していきます。GE キャピタルは自己資本規制バーゼル 3 準拠の体制が整っており、我々は今後とも金融サービス事業の利益成長が続くと考えています。」

「また、GE キャピタルが過去に日本で展開していた消費者金融事業の処分に関連する引当金を、当四半期に 11 億ドル増強し、非継続事業の欄に計上しました。現在の状況を見る限り、今回の引当により過払い請求のリスクに十分対応できたと言えます。」

上記以外に、当四半期における重大な支払い債務または利益は発生していません。

「我々は、今後資本を有効配分することが、GE の投資家に資するものと考えています。最近の主な案件では、GE エナジーによる Dresser, Inc.（エナジー・インフラストラクチャー・テクノロジーおよびサービスのグローバル企業）の 30 億ドルでの買収発表、GE キャピタルによる Citi Retail Partner Cards 販売金融事業の 16 億ドルでの買収発表および、10 億ドル規模の廃熱回収事業への参入に向けた GE パワー & ウォーター事業部門による Calnetix Power Solutions の買収発表などがあります。当社は 2010 年第 3 四半期の配当金額を 20%引き上げ、自社株買いの期限を延長しました。我々は、当社の財務体質およびキャッシュフローの強さに自信をもっています。」

「当四半期の業績は、新たに生まれ変わった GE が 2011 年以降、増益・増配を達成できることの証明であり、投資家の皆様にも納得頂けるものと考えています」とイメルトは述べています。

2010 年第 3 四半期の決算ハイライト

GE に帰属する継続事業からの利益は、前年同期の 25 億ドルから 29%増の 32 億ドルとなりました。継続事業からの 1 株当たり利益は、前年同期比 32%増の 0.29 ドルとなりました。セグメント別利益は、GE キャピタルが同 500%以上の増加となり、テクノロジー・インフラストラクチャー事業の同 10%減、NBC ユニバーサルの同 15%減の影響を大幅に圧縮し、全体では前年同期比 11%増となりました。

非継続事業の実績を含めると、当四半期の GE の普通株主に帰属する純利益は 20 億ドル（普通株 1 株当たり 0.18 ドル）となりました。なお、前年同期の純利益は 24 億ドル（普通株 1 株当たり 0.23 ドル）でした。

売上高は、5%減の 359 億ドルとなりました。GE キャピタルサービス(GECS)の売上高は、前年同期比 2%減の 125 億ドルとなりました。産業分野事業の売上高は同 6%減の 236 億ドルとなりました。

GE 産業分野事業の営業活動による第 3 四半期末累計キャッシュフロー総額は前年同期の 114 億ドルから 11%減の 101 億ドルとなりました。

注：別紙の財務諸表には、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報が含まれています。

* * *

GE について

GE は、世界各国においてインフラストラクチャー、金融、メディアの分野で事業を展開し、世界が直面している困難な課題の解決に貢献しています。航空機エンジン、発電をはじめ、金融サービスやヘルスケア・ソリューション、テレビ番組の編成にいたるまで、幅広い商品とサービスを、世界 100 カ国以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」「予想する」「つもりである」「計画する」「信じる」「探し求める」「見込む」「～であろう」といった言葉を含むことがよくあります。「将来予想に関する記述」はその性質上、程度の差はあれ不確実な事柄に言及します。GE の実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む、現在の経済・金融状況、当社が計画する GE キャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、そして、GECC の資産レベルを縮小するための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行（デフォルト）になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、日本の消費者金融におけるグレーゾーン金利返還の当社見積もりに対する実際の請求状況、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する当社の能力に影響を及ぼし得る、当社のキャッシュフローや利益など財務状況の適切性、当社の客先である主要産業（航空会社、鉄道、エネルギー生産、ネットワーク TV、不動産、ヘルスケア、あるいはその他の産業）からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響（金融関連法令の影響を含む）、買収・売却など戦略的行為や、買収した事業の統合における当社の成功、さらに政治的、経済的、商業的、競争的な性質を持つ、国や地域、世界規模で起こる、その他の多数の事象が含まれます。こうした不確実性により、将来における GE の実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GE は「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

本件に関するお問い合わせ

日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部
TEL: 03-3588-9500

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

損益計算書
連結

7 - 9 月期				GE (a)			金融サービス(GECS)		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ									
商品およびサービス売上げ	\$23,601	\$25,143		\$23,593	\$25,125		\$40	\$213	
その他の売上げ	187	438		223	476		-	-	
GECS の継続事業による売上げ	-	-		832	133		-	-	
GECS のサービス売上げ	<u>12,100</u>	<u>12,218</u>		<u>-</u>	<u>-</u>		<u>12,429</u>	<u>12,533</u>	
総収入	<u>35,888</u>	<u>37,799</u>	(5)%	<u>24,648</u>	<u>25,734</u>	(4)%	<u>12,469</u>	<u>12,746</u>	(2)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	25,772	27,902		20,251	22,277		5,719	5,962	
支払い利息およびその他の財務費用	4,039	4,322		393	352		3,790	4,128	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	741	732		-	-		796	785	
貸倒引当金	<u>1,696</u>	<u>2,868</u>		<u>-</u>	<u>-</u>		<u>1,696</u>	<u>2,868</u>	
売上原価および費用合計	<u>32,248</u>	<u>35,824</u>	(10)%	<u>20,644</u>	<u>22,629</u>	(9)%	<u>12,001</u>	<u>13,743</u>	(13)%
税引前の継続事業による利益（損失）	3,640	1,975	84%	4,004	3,105	29%	468	(997)	F
法人税等引当額（引当金）	<u>(318)</u>	<u>484</u>		<u>(705)</u>	<u>(654)</u>		<u>387</u>	<u>1,138</u>	
継続事業による利益	3,322	2,459	35%	3,299	2,451	35%	855	141	F
非継続事業による税引利益（損失）	<u>(1,105)</u>	<u>40</u>		<u>(1,105)</u>	<u>40</u>		<u>(1,104)</u>	<u>40</u>	U
純利益（損失）	2,217	2,499	(11)%	2,194	2,491	(12)%	(249)	181	U
非支配持分の純利益（損失）を差し引く	<u>162</u>	<u>5</u>		<u>139</u>	<u>(3)</u>		<u>23</u>	<u>8</u>	
当社に帰属する利益（損失）	2,055	2,494	(18)%	2,055	2,494	(18)%	(272)	173	U
優先株主配当	<u>(75)</u>	<u>(75)</u>		<u>(75)</u>	<u>(75)</u>		<u>-</u>	<u>-</u>	
普通株主に帰属する純利益（損失）	<u>\$1,980</u>	<u>\$2,419</u>	(18)%	<u>\$1,980</u>	<u>\$2,419</u>	(18)%	<u>\$ (272)</u>	<u>\$173</u>	U
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$3,160	\$2,454	29%	\$3,160	\$2,454	29%	\$832	\$133	F
非継続事業による税引き利益（損失）	<u>(1,105)</u>	<u>40</u>		<u>(1,105)</u>	<u>40</u>		<u>(1,104)</u>	<u>40</u>	
当社に帰属する純利益（損失）	<u>\$2,055</u>	<u>\$2,494</u>	(18)%	<u>\$2,055</u>	<u>\$2,494</u>	(18)%	<u>\$ (272)</u>	<u>\$173</u>	U
継続事業による 1 株あたり利益									
希釈化後	\$0.29	\$0.22	32%						
希釈化前	\$0.29	\$0.22	32%						
1 株当たり純利益									
希釈化後	\$0.18	\$0.23	(22)%						
希釈化前	\$0.18	\$0.23	(22)%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,691	10,638	-%						
希釈化前	10,674	10,638	-%						
1 株当たり配当額	\$0.12	\$0.10	20%						

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業分野事業を対象

単位は百万ドルもしくは百万株。1 株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。
「連結」欄には、GEとGECS間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2009に
掲載されている2009年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
損益計算書

1月 - 9月期	連結			GE (a)			金融サービス (GECS)		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ									
商品およびサービス売上げ	\$71,778	\$75,348		\$71,505	\$75,159		\$489	\$691	
その他の売上げ	815	900		903	1,035		-	-	
GECS の継続事業による売上げ	-	-		2,193	1,479		-	-	
GECS のサービス売上げ	37,344	39,097		-	-		38,299	39,969	
総収入	109,937	115,345	(5)%	74,601	77,673	(4)%	38,788	40,660	(5)%
売上原価および費用									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	78,634	83,042		61,849	65,986		17,508	17,950	
支払い利息およびその他の財務費用	12,371	14,302		1,166	1,076		11,598	13,717	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	2,210	2,257		-	-		2,353	2,381	
貸倒引当金	5,968	8,021		-	-		5,968	8,021	
売上原価および費用合計	99,183	107,622	(8)%	63,015	67,062	(6)%	37,427	42,069	(11)%
税引前の継続事業による利益（損失）	10,754	7,723	39%	11,586	10,611	9%	1,361	(1,409)	F
法人税等引当額（引当金）	(1,634)	566		(2,479)	(2,393)		845	2,959	
継続事業による利益	9,120	8,289	10%	9,107	8,218	11%	2,206	1,550	42%
非継続事業による税引損失	(1,683)	(175)		(1,683)	(175)		(1,679)	(157)	
純利益	7,437	8,114	(8)%	7,424	8,043	(8)%	527	1,393	(62)%
非支配持分の純利益を差し引く	328	102		315	31		13	71	
当社に帰属する純利益	7,109	8,012	(11)%	7,109	8,012	(11)%	514	1,322	(61)%
優先株式配当	(225)	(225)		(225)	(225)		-	-	
普通株主に帰属する純利益	\$6,884	\$7,787	(12)%	\$6,884	\$7,787	(12)%	\$514	\$1,322	(61)%
当社に帰属する利益									
継続事業による利益	\$8,792	\$8,187	7%	\$8,792	\$8,187	7%	\$2,193	\$1,479	48%
非継続事業による税引き損失	(1,683)	(175)		(1,683)	(175)		(1,679)	(157)	
当社に帰属する純利益	\$7,109	\$8,012	(11)%	\$7,109	\$8,012	(11)%	\$514	\$1,322	(61)%
継続事業による1株あたり利益									
希釈化後	\$0.80	\$0.75	7%						
希釈化前	\$0.80	\$0.75	7%						
1株当たり純利益									
希釈化後	\$0.64	\$0.73	(12)%						
希釈化前	\$0.64	\$0.73	(12)%						
期中平均株式数									
希釈化後	10,689	10,601	1%						
希釈化前	10,672	10,601	1%						
1株当たり配当額	\$0.32	\$0.51	(37)%						

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業分野事業を対象

単位は百万ドルもしくは百万株。1株当たりの単位はドル。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECS間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は、www.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
セグメント別業績の要約 (未監査)

(単位：100万ドル)	9月30日までの 3ヶ月間			9月30日までの 9ヶ月間		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%
売上げ						
			(14)			
エネルギー・インフラストラクチャー (a)	\$ 8,359	\$ 9,769	%	\$ 26,554	\$ 29,310	(9)%
テクノロジー・インフラストラクチャー(a)	9,210	9,306	(1)%	26,930	28,466	(5)%
NBC ユニバーサル	4,069	4,079	-%	12,139	11,168	9%
GE キャピタル(a)	11,616	12,005	(3)%	36,244	38,516	(6)%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(a)	2,125	2,136	(1)%	6,315	6,229	1%
全セグメントの売上げ	35,379	37,295	(5)%	108,182	113,689	(5)%
セグメント間取引の消去および本社勘定	509	504	1%	1,755	1,656	6%
継続事業による連結売上げ	\$ 35,888	\$ 37,799	(5)%	\$ 109,937	\$ 115,345	(5)%
セグメント別利益 (b)						
エネルギー・インフラストラクチャー(a)	\$ 1,656	\$ 1,649	-%	\$ 5,047	\$ 4,830	4%
			(10)			
テクノロジー・インフラストラクチャー(a)	1,474	1,645	%	4,431	5,090	(13)%
			(15)			
NBC ユニバーサル	625	732	%	1,431	1,662	(14)%
GE キャピタル(a)	871	141	F	2,308	1,601	44%
ホーム&ビジネス・ソリューションズ(a)	104	104	-%	318	239	33%
全セグメントの利益	4,730	4,271	11%	13,535	13,422	1%
セグメント間取引の消去および本社勘定	(472)	(811)	42%	(1,098)	(1,766)	38%
			(12)			
GE 金利およびその他の金融手数料	(393)	(352)	%	(1,166)	(1,076)	(8)%
GE 法人税引当金	(705)	(654)	(8)%	(2,479)	(2,393)	(4)%
継続事業による利益	3,160	2,454	29%	8,792	8,187	7%
非継続事業による税引き利益 (損失)	(1,105)	40	U	(1,683)	(175)	U
			(18)			
連結純利益	\$ 2,055	\$ 2,494	%	\$ 7,109	\$ 8,012	(11)%

(a)セグメントを再編し2010年1月1日より施行。それ以前の金額に関しては当期の表示内容に合致するように再分類された。

(b)セグメント別利益の評価対象から常に除外される項目は、主要な年金プラン、非継続事業、非支配持分および会計処理変更による影響である。また、事業再編や合理化による費用、進行中の研究および開発、事業取得に関わる費用および差額、技術および製品開発コスト、処分に伴う利益または損失、訴訟の和解やその他費用など、現経営陣の前任者に責を帰すべきものについては、算入しない場合もある。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、テクノロジー・インフラストラクチャー、エネルギー・インフラストラクチャー、NBCユニバーサル、ホーム&ビジネス・ソリューションズであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは、金融事業で、これは純利益とも言えるものである。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー

セグメント別業績の要約（未監査）

追加情報

(単位100万ドル)	9月30日までの 3ヶ月間			9月30日までの 9ヶ月間		
	2010	2009	V%	2010	2009	V%
エナジー・インフラストラクチャー						
売上げ	\$ 8,359	\$ 9,769	(14)%	\$ 26,554	\$ 29,310	(9)%
セグメント利益	\$ 1,656	\$ 1,649	-%	\$ 5,047	\$ 4,830	4%
売上げ						
エナジー	\$ 6,812	\$ 7,979	(15)%	\$ 22,044	\$ 24,449	(10)%
オイル & ガス	1,778	1,953	(9)%	5,145	5,444	(5)%
セグメント利益						
エナジー	\$ 1,393	\$ 1,340	4%	\$ 4,393	\$ 4,150	6%
オイル & ガス	287	338	(15)%	770	800	(4)%
テクノロジー・インフラストラクチャー						
売上げ	\$ 9,210	\$ 9,306	(1)%	\$ 26,930	\$ 28,466	(5)%
セグメント利益	\$ 1,474	\$ 1,645	(10)%	\$ 4,431	\$ 5,090	(13)%
売上げ						
アピエーション	\$ 4,391	\$ 4,542	(3)%	\$ 12,815	\$ 13,978	(8)%
ヘルスケア	3,958	3,801	4%	11,793	11,310	4%
トランスポートーション	869	970	(10)%	2,344	3,210	(27)%
セグメント利益						
アピエーション	\$ 805	\$ 970	(17)%	\$ 2,483	\$ 2,973	(16)%
ヘルスケア	581	508	14%	1,739	1,509	15%
トランスポートーション	101	177	(43)%	242	630	(62)%

(次ページへ続く)

GE キャピタル

売上げ	\$	11,616	\$	12,005	(3)%	\$	36,244	\$	38,516	(6)%
-----	----	--------	----	--------	------	----	--------	----	--------	------

セグメント利益	\$	871	\$	141	F	\$	2,308	\$	1,601	44%
---------	----	-----	----	-----	---	----	-------	----	-------	-----

売上げ

CLL(a)	\$	4,551	\$	4,725	(4)%	\$	13,651	\$	15,711	(13)%
コンシューマー(a)		4,612		4,848	(5)%		14,408		14,411	-%
リアル・エステート		953		981	(3)%		2,888		2,970	(3)%
エネルギー・フィナンシャル・サービス		291		483	(40)%		1,677		1,617	4%
GECAS(a)		1,321		1,125	17%		3,819		3,391	13%

セグメント利益

CLL(a)	\$	443	\$	130	F	\$	987	\$	611	62%
コンシューマー(a)		826		443	86%		2,154		1,432	50%
リアル・エステート		(405)		(538)	25%		(1,332)		(948)	(41)
エネルギー・フィナンシャル・サービス		55		41	34%		334		181	85%
GECAS(a)		158		187	(16)%		763		733	4%

(a)2009年の第1四半期の間にトランスポテーション・ファイナンス・サービスの事業をGECASからCLLへと移動させ、イタリアのコンシューマー・ビジネスをコンシューマーからCLLへと移動させた。それ以前の金額に関しては当期の表示内容に合致するように再分類された。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
連結貸借対照表

(単位10億ドル)

	連結		GE (a)		金融サービス(GECS)	
資産	9/30/10	12/31/09	9/30/10	12/31/09	9/30/10	12/31/09
現金および有価証券	\$ 124.1	\$ 124.2	\$ 13.0	\$ 8.7	\$ 111.7	\$ 116.3
受取手形および売掛金	17.7	16.5	9.7	9.8	-	-
棚卸資産	12.0	12.0	11.9	11.9	0.1	0.1
GECS の金融債権—純額	322.3	329.2	-	-	331.3	336.9
固定資産—純額	65.5	69.2	11.8	12.5	53.7	56.7
GECS に対する投資	-	-	66.9	70.8	-	-
営業権・無形固定資産	74.4	77.5	44.3	45.1	30.1	32.4
その他の資産	107.5	117.6	17.4	17.0	95.7	106.2
売却対象事業の資産	34.0	34.1	33.2	34.0	0.8	0.1
非継続事業の資産	1.3	1.5	0.1	0.1	1.3	1.5
総資産	\$ 758.8	\$ 781.8	\$ 208.3	\$ 209.9	\$ 624.7	\$ 650.2
負債および資本						
借入金および銀行預金	\$ 494.8	\$ 510.2	\$ 10.4	\$ 12.2	\$ 486.5	\$ 500.3
投資契約・保険損失・						
保険および年金給付	31.3	31.6	-	-	31.7	32.0
その他の負債	99.1	107.5	68.2	68.4	35.8	43.9
売却対象事業の負債	10.6	6.1	10.1	6.0	0.4	0.1
非継続事業の負債	2.4	1.3	0.2	0.2	2.3	1.1
株主資本	115.5	117.3	115.5	117.3	66.9	70.8
非支配持分	5.1	7.8	3.9	5.8	1.1	2.0
負債および資本合計	\$ 758.8	\$ 781.8	\$ 208.3	\$ 209.9	\$ 624.7	\$ 650.2

(a) GECSを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業事業分野を対象

2010年9月30日現在。未監査。補足のデータを「GE」および「GECS」欄に示す。「連結」欄にはGEとGECS間の取引を含まない。
連結および修正事項に関する詳細な情報はwww.ge.com/ar2009に掲載されている2009年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー
GAAPデータを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC基準では「非GAAP財務指標」として扱われます。こうした非GAAP財務指標は、本リリースで発表したGAAP指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、2010 年の9月30日までの9ヶ月間の産業分野の営業活動によるキャッシュフロー（インダストリアルCFOA）の前年同期と比較、2010年第3四半期（9月30日までの3ヶ月）におけるインダストリアルCFOA、2010年度と2009年度における9月30日までの3ヶ月間の、NBCUを除く産業事業の営業利益率です。これらのデータは後に最も比較に適したGAAP基準と照合されます。

(単位100万ドル)

	9月30日までの 9ヶ月間		
	2010	2009	V%
<u>インダストリアル CFOA の増加</u>			
GE の営業活動で得たキャッシュ	\$ 10,142	\$ 11,442	
GECS からの配当を差し引く	-	-	
GECS からの配当を除いた GE の営業活動でえたキャッシュ (インダストリアル CFOA)	\$ 10,142	\$ 11,442	(11)%
	9月30日までの 3ヶ月間		
GE の営業活動で得たキャッシュ		\$ 3,828	
GECS からの配当を差し引く		-	
GECS からの配当を除いた GE の営業活動でえた キャッシュ(インダストリアル CFOA)		\$ 3,828	

インダストリアルCFOAはGEが営業活動で得たキャッシュからGECSからの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GEからGECESへ販売されたGE顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などのGECSのサービス、ビルや機器（自動車を含む）のGECSからGEへのリース、GEからGECSへの情報技術（IT）などのサービスの販売、GECSがリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されているGEが製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECSからの配当を除いてGEが営業活動からどれだけキャッシュを得られるかは投資家の皆様の有用な判断材料になるかと思えます。GECSからの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに期毎に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には役立たないかもしれませんが、金融サービス事業から得ている配当の額について追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス（GECS）のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアルCFOAは、産業事業分野のキャッシュを生み出す実力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP規則によるCFOA値を補足するデータを掲示しています。

NBCUを除く産業事業の営業利益率

9月30日までの3ヶ月間

セグメント	2010			2009		
	営業利益	売上げ	営業利益率%	営業利益	売上げ	営業利益率%
エネルギー・インフラストラクチャー	\$ 1,656	\$ 8,359		\$ 1,649	\$ 9,769	
テクノロジー・インフラストラクチャー	1,474	9,210		1,645	9,306	
ホーム&ビジネス・ソリューションズ	104	2,125		104	2,136	
NBCU を除くインダストリアル	3,234	19,694	16.4%	3,398	21,211	16.0%
NBCU	625	4,069		732	4,079	
産業事業	\$ 3,859	\$ 23,763	16.2%	\$ 4,130	\$ 25,290	16.3%

2010年度と2009年度における9月30日までの3ヶ月間の弊社のメディアビジネスであるNBCユニバーサルを除外した産業事業分野の営業利益率を提示しました。売却対象事業となっているNBCユニバーサルの事業を除外した産業事業分野の業績情報の提供は、投資家の皆様にとって有益な比較情報であると考えます。この評価基準を対応するGAAP評価基準と並べて考慮する事により、経営陣ならびに投資家の皆様にとっては、他の産業事業との比較を行なうための追加情報が得られると考えています。